

安保破棄ニュース

No. 506
2019.6.13

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

学ぶ闘いの不屈

安保破棄大阪実行委員会沖縄連帯ツアー

護郷隊体験者 瑞慶山さんと



6月1日
キャンプシュワブゲート前集会

今や、沖縄県民の決して諦めず「平和で誇りある豊かな沖縄」を築くためには「戦争のための米軍基地を新たに造ることなど断じて許さない」という不屈の闘いを止めることはできません。

今回の「沖縄連帯ツアー」は、その不屈の闘いの源流を探ろうと考え、企画しました。

そしてツアーの参加者からは「沖縄の戦争は終わっていない」「二度と戦争を許してはならない」「だからこそ、辺野古新基地建設はやめさせなければならぬ」という感想が寄せられています。

沖縄で繰り広げられた勝つ見込みのない、「国体護持」のための時間稼ぎ、沖縄を「捨て石」にし、住民を巻き込んでの「出血持久」の戦い。それが沖縄戦であり、北部では、少年（主に15歳〜18歳）たちが遊撃隊として駆り出され、当時の法律にも反して「徴兵前の血気盛んな者たちを召集する」という軍部の考えの下に1944年9月から召集されました。

それが「護郷隊」と言われた約1000名の「兵士」です。その中の一人、大宜味村の瑞慶山良光さん（90歳）から聞かせていただいたお話は、あまりにも苛烈で悲しい沖縄戦、その中でも複雑な北部での戦争の実相に包まれていました。

1945年4月1日、彼は斥候として派遣された読谷の地で、米軍が沖縄本島に上陸してくる状況を見ます。

米艦からは凄まじい艦砲射撃が行われ、その爆発する煙幕で「何もみえなくなつた」いよいよ上陸となつたが、「陸の方からは玉一発も撃たない」

「中隊長、これでも日本軍は勝てるんですか？」と聞くと、

「慶良間で追い返せなければ、勝つ見込みはないよ」と言われた。



瑞慶山良光さん

良光さんを含め、住民たちは「上陸と同時に降参だな」「負けるんだな」と知つたと思うと言われました。

まさに、勝つ見込みのない時間稼ぎの持久戦のために、軍隊は地元住民を戦争に巻き込み、あまりにも多くの犠牲者を出すこととなった沖縄戦。

軍隊と共に行動しなければならぬ状況となつたがために、犠牲となつた多くの住民がいました。

「軍隊は決して住民を守らない」のです。

良光さんはようやく故郷に帰ることが出来ましたが、あまりにもキツイ戦時中の記憶がよみがえり、村の中で匍匐前進をしたり、奇声を発したため周りの人から「兵隊幽霊」と言われ、遠ざけられた時期があります。

「戦争は、戦時中だけでなく、戦後の生活に大きな影を落とす」のです。

このような戦争を地元で経験した沖縄の人々は、戦後も27年間アメリカの統治下で暮らすこととなり、その後も「基地なし、本土並み」ではないままの生活を余儀なくされてきました。

その中で培われてきた、粘り強く「決して諦めない」「不屈のたたかいを、今後も学びながら、大阪での活動にいかせればと思えるツアーとなりまし



名護小学校
「少年護郷隊の碑」



辺戸岬
「祖国復帰闘争碑」

ツアーに先立って、事前学習会を2回開きました

沖縄ツアーに先立って、事前学習会を2回行いました。1回目は「沖縄のたたかいの源流をたどる」をテーマに、代表幹事の植田保二さんより話をしてもらいました。琉球処分のことから、沖縄戦の話、戦後の米軍支配下の話など、まさに沖縄のたたかいの源流はどこにあるのかが感じられる話でした。今回の沖縄ツアーの中心の一つである「護郷隊」についても書籍を紹介しながら話をされました。また、現在の「オール沖縄」のことにも触れ、「経済人がいないと迫力がない。オール沖縄は財界人も含めた幅広さがある」「沖縄のたたかいを通して憲法の大切さが見える」と話されました。

2回目は、「沖縄はいま」をテーマに、守山事務局長が話をしました。この間沖縄の新聞で特集されていた沖縄の日本返還の特集記事を見ながら、沖縄の基地問題をくわしく話されました。県民投票、沖縄3区補選などの結果についても詳しいデータをもとに話されました。

当面の予定

6月

- 5日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
 14日(金) 市民連合高槻・島本「第7回連続講座」
 (18:00~クロスパル高槻)
 15日(土) 沖縄県人会・「玉城デニー沖縄県知事と語る会」
 (16:00~大正区民ホール)
 21日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00~淀屋橋)
 22日(土) 「軍学共同いらない! 市民と科学者のつどいIV」
 (13:30~16:00 関西大学第1 学舎B101)
23日(日)「6・23 大阪のつどい」
(14:00~16:30 エルおおさか 606 号室)
 29日(土) 中央安保・高江集会・辺野古行動 (~7月1日)

7月

- 3日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
 23日(火) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00~淀屋橋)
 24日(水) 近畿安保破棄実行委員会合同会議(14:00~大阪安保)
 31日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)

8月

- 7日(水) 原水禁世界大会 in 長崎 (~9日)
 23日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00~淀屋橋)

沖縄と連帯し、日米安保条約廃棄をめざす



日時: 2019年6月23日(日) 午後2時~4時半

場所: エルおおさか 6階 606号室

大阪市中央区北浜東e-14

《アクセス》 ・京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

・JR 東西線「大阪天満宮駅」より南へ8E0m

講演: 「今日の日米同盟を問う」

講師: 小泉 親司 さん

(日本共産党基地対策委員会責任者、

安保破棄中央実行委員会常任理事)

安保破棄大阪実行委員会沖縄ツアー報告

沖縄と連帯し、 日米安保条約廃棄をめざそう!

6・23大阪のつどい

6月23日は、安保破棄実行委員会として、2つの意味で大変大きな位置を占めている日です。

ひとつには、1960年6月23日に現行の日米安保条約が、発効したことです。5月19日の衆議院安保特別委員会において、「発言する者、離席する者多く議場騒然聴取不能」(委員会議事録より)という大混乱の中で強行採決され、その後の本会議では、与党単独(与党議員の一部も退場する)で、新安保条約が強行採決されました。参議院での議決が無いまま、30日後には自然成立。そして、6月23日に発効したのです。この時、国会周辺では、多くの国民が「安保反対」を叫び、連日行動していました。この声を全く無視しての強行だったのです。現在の日米安保体制が確立された日であり、この事に抗議の意思を示し続けるために、安保破棄大阪実行委員会として毎月23日を基本として「23 定例宣伝行動」を行っています。

もうひとつは、1945年6月23日です。日本国内、住民を巻き込んだ唯一の地上戦となった沖縄戦の組織的戦闘が終結したとされている日です。県民の4人に1人が、艦砲射撃、集団自決強要、日本軍による殺害などの犠牲になるといふ、アメリカ軍人すらも「この世の地獄」と表現したほどの沖縄戦。沖縄では毎年この日に、沖縄戦のすべての死者を追悼する行事を行っています。

今年の6月23日に「沖縄と連帯し、日米安保条約廃棄をめざす

23 宣伝行動

大阪市区、府議会が23日に開会されることで、それに対する行動が入っていたため、5月の23 定例宣伝行動は前倒しして22日に行いました。

母親大会連絡会、大阪教職員組合、安保破棄大阪実行委員会代表幹事からの弁士が道行く人たちに訴えをしました。

幾度も示される辺野古新基地建設反対の沖縄県民の民意を無視し続ける安倍政権に対する批判、F35などの兵器爆買いに対する批判などを訴え、全国からしっかりと声を上げていこうと呼びかけました。

辺野古新基地反対プラスターを掲げ、ビラ配布と「辺野古新基地建設工事中止と普天間基地の無条件撤去を求める」請願署名への協力呼びかけを行いました。

自ら手を伸ばしてビラを受け取ってくれる人もいて、プラスターを見ながら歩いていく人が多くいました。沖縄への思いを話しながら署名に協力してくれる人もいました。

6月の23 宣伝行動は、6月21日に行います。是非、ご参加ください。



6・23 大阪のつどい(14時~エルおおさか6階・606号室)を開催します。小泉親司さん(日本共産党基地対策委員会責任者・安保破棄中央実行委員会常任幹事)に来ていただき、「今日の日米同盟を問う」をテーマにして講演していただきます。